

みずほCustomer Desk Report 2017/04/10号(As of 2017/04/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公宗仲値 GBP/USD	110.99 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.89	1.0643	118.02	1.0056	1.2468	0.7539
SYD-NY High	111.36	1.0669	118.15	1.0096	1.2477	0.7547
SYD-NY Low	110.14	1.0581	117.32	1.0029	1.2365	0.7495
NY 5:00 PM	111.05	1.0592	117.65	1.0095	1.2374	0.7504
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.71/11.21		△25RR	1.915	Yen Call Over	

		債券市場	日本2年債	-0.2090	▲0.1bp	
NY DOW	20,656.10	▲ 6.85	日本10年債	0.0610	0.1bp	
NASDAQ	5,877.81	▲ 1.14	米国2年債	1.2862	4.8bp	
S&P	2,355.54	▲ 1.95	米国5年債	1.9196	6.1bp	
日経平均	18,664.63	67.57	米国10年債	2.3822	4.1bp	
TOPIX	1,489.77	9.59	独10年債	0.2280	▲3.5bp	
シカゴ日経先物	18,840	50.00	英10年債	1.0750	▲2.4bp	
ロンドンFT	7,349.37	46.17	豪10年債	2.5510	▲3.0bp	
DAX	12,225.06	▲5.83	為替市況	USD/CNH	6.8967	0.0073
ハンセン指数	24,267.30	▲6.42	ドルインデックス	101.18	0.51	
上海総合	3,286.62	5.61	商品市況	CRB指数	187.105	0.32
USDJPY 3M Vol	9.78	0.13%		NY金	1,257.30	4.00
USDJPY 6M Vol	9.57	0.05%		WTI	52.24	0.54
EURJPY 3M Vol	12.35	0.24%		Dubai Spot	53.88	1.26
EURJPY 6M Vol	11.19	0.22%				

東京  
東京時間のドル円は110.89レベルでオープン。米中首脳による夕食会を前にトランプ大統領から中国と「長期的に非常にすばらしい関係を築けると思う」との発言が報じられ、米中首脳会談の結果への警戒感が後退。前日比100円超高で寄り付いた日経平均株価が上げ幅を拡大させる中、ドル円は東京時間高値111.00をつけた。しかし、その後「米国がシリアに向けて巡航ミサイル発射」とのヘッドラインを受けて110.39まで急落。米10年債利回りが一時2.3%を割り込んだほか、日経平均株価も前日比マイナス圏まで沈んだ。アサド政権軍は関与を否定しているものの、シリア西部で今月上旬に行われた空爆でサリン使用の疑いが強まり、5日には国連安保理で緊急会合が開催されていた。正午にかけてドル円は更に軟調に推移し、安値110.14をつけた。しかし、110.00を割り込むには至らなかったことで下値の堅さを確認する格好となる中、米国防当局からシリアへのミサイル攻撃は一度限りと言われ、110.50近辺まで反発。引けにかけてはブチ大統領領の「米のシリア攻撃は侵略行為とみなしている」との発言が報じられるたもののドル円相場への影響は限定的。結局110.62レベルで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン  
ロンドン市場のドル円は、110.62レベルでオープンすると、シリアを巡る米露の対立に不透明感は漂うものの、ニューヨーク時間に米3月雇用統計を控えていることから動意に欠け、110円台半ばで揉み合い推移。結局、110.70レベルとオープンとほぼ変わらない水準でNYに渡った。ポンドは1.2468レベルでオープン。朝方発表された英2月鉱工業生産が前月比-0.7%(市場予想+0.2%)、前年比+2.8%(市場予想+3.7%)と弱い結果となると1.2460から1.2430近辺まで下落、その後も緩やかなポンド安基調が続き1.2420レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)

ニューヨーク  
海外市場のドル円は110円台半ばを挟んでの推移となり、110.70レベルでNYオープン。朝方発表された米3月非農業部門雇用者数変化が予想を大幅に下回り、過去2ヶ月分も下方修正されたことからドル円は110.14まで急落。しかし、非農業部門雇用者数変化の鈍化は季節要因によって強含んだ過去2ヶ月の反動であり、3ヶ月平均は+178千人と堅調推移をキープしていることや、米3月失業率は2007年5月以来の良好な結果だったことから、米労働市場は依然良好との見方が広がり、ドル円は米金利とともに反発し、110.98まで上昇。昼過ぎに行われた講演でダドリー・NY連銀総裁から「FRBはバランスの縮小を2017年後半、または2018年前半に始める可能性がある」と発言したことから米長期金利が一時的に上昇すると、ドル円も短期筋のストップを巻き込みながら東京時間高値の111.00を上抜け一時111.36まで上昇。この付近ではドル売り意欲も強く、また堅調推移だった米株がマイナス圏に沈んだことから、ドル円は小振り、111.05レベルでクロスした。一方ユーロは1.0624レベルでNYオープン。米3月非農業部門雇用者数変化の結果を受けて1.0669まで上昇。その後、ダドリー総裁の発言を受けて米長期金利が上昇し、ドル買い優勢となる中、ユーロは安値1.0581まで下落。結局、1.0592でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・坂本

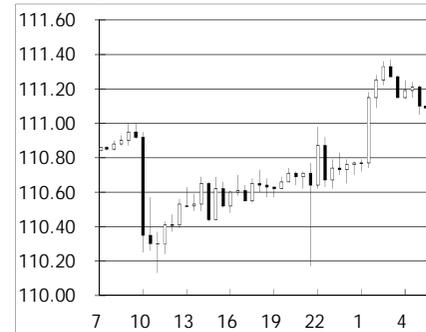
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月7日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 2.2%/2.5%	-0.2%/0.5%
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月 -0.7%/2.8%	0.2%/3.7%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月 -0.1%/3.3%	0.3%/3.9%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 98K	180K
	21:30	米 失業率	3月 4.5%	4.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.2%/2.7%	0.2%/2.7%
	21:30	加 雇用ネット変化	3月 19.4K	5.7K
	21:30	加 失業率	3月 6.7%	6.7%
	-	米中首脳会談	-	-

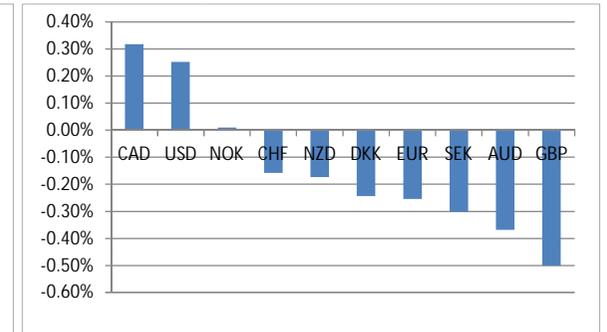
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月10日	08:50	日 貿易収支/経常収支	2月 ¥981.7B/¥2,512.9B	-¥853.4B/¥65.5B
	09:00	日 黒田日銀総裁 支店長会議挨拶	-	-
	23:00	米 労働市場情勢指数	3月 1.0	1.3
4月11日	05:00	米 イエレンFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.40-111.60	1.0500-1.0650	117.00-118.50

【マーケットインプレッション】

先週末海外市場のドル円は、下に往って来いの展開。注目された米3月雇用統計では、非農業部門雇用者数変化が市場予想を大幅に下回る結果となりドル円は110円台後半から前半まで急落するも、失業率が2007年以降の低水準となったこと等からその後は徐々に値を戻す展開。ダドリー・NY連銀総裁による講演は、バランスシートの縮小により利上げペースが過度に後退するとの観測が弱まる内容となり、米長期金利の上昇に連なってドル円も一時111.36まで上昇し、結局111円台前半で越えた。本日のドル円は方向感なく上値の重い展開を予想。トランプ政権の先行き不透明感が依然として漂う中、米国のシリアに対する強硬姿勢に地政学リスクの高まりも意識される状況。米3月雇用統計などの主要イベントを通過し、足元やや材料難の中でドルが積極的に買われるイメージもなく、基本的に上値の重い展開を予想する。